

7

「総合的な学習の時間の活動」と 「生徒会活動」を通して

報告者 愛知県岡崎市立矢作中学校 太田 都 先生

1. ポイント

本校は、全校810名ほどの大規模校である。矢作川が近くを流れ、学区の北部には国道1号線が通っている。学校全体で、行事や部活動に積極的に取り組んでいる。

本校では、地域の環境を巻き込んだESDに力を入れており、

○総合的な学習の時間では、1年生は「人間と自然の共生」をテーマに、自然と人間の「相互性」について考えてき、2年生は「新エネルギーについて考えよう」をテーマに、資源・エネルギーの「有効性」を学び、3年生は「未来の地球を守るために私たちができること」をテーマに、「責任性・協調性」を学ぶ。

○矢作川河川敷で行う伝統行事「アースワーク」（砂の彫刻）と河川敷の清掃を通し、共同作業や自然保護意識を培う。

の2つを柱としている。



第44回アースワークの様子



矢作川の清掃の様子

2. 総合的な学習の時間の活動を通して

3年生は、1・2年生の総合的な学習の時間で学んだことを3年生の学習に結びつけたり、発展させるために、5月の東京への修学旅行の中で、7つの見学場所を設けた。その中の1つにユニセフハウスがあり、12名の生徒が訪問した。熱心に話を聞き、メモをとったり写真を撮ったりしていた。



現在3年生では、「未来の地球を守るためにわたしたちができること」をテーマに、8つの講座に分かれて学習を進めている。その中の1つに、「陸前高田に学ぶ　郷土岡崎の未来予想図」があり、生徒会活動の交流活動ともリンクしている。

3、生徒会活動での取り組み

宮城県にある陸前高田第一中学校は、以前本校と同じ矢作中学校という名前だったとのことである。同じ名前という縁で、昭和50年代に交流活動を行っていたこともあり、昨年8月から、30年近く途絶えていた陸前高田第一中学校との交流を再開した。

生徒会を中心に交流活動を進めており、ビデオレターや励ましのメッセージを送ったり、募金活動を行った。さらに以前から生徒を中心として行われていた資源回収の一部を寄付するなどしている。平成24年2月には、教員2名がその寄付を持って訪問し、そのときの報告会を全校集会で行った。

今後も、生徒会と「総合的な学習の時間」の活動を中心として、全校で交流を深めていく予定である。



H23年8月 訪問の様子



文化祭 パネルメッセージ



資源回収の様子



H24年2月 報告会の様子



集まったペットボトルキャップ

また、文化委員会を中心として、ペットボトルキャップ回収運動に取り組んでいる。生徒の活動を活発にするために、クラス対抗形式で、年2回行っている。2012年2月の回収では、107,008個集まり、今までの累計個数は、637,232個でワクチン796.5人分になるとのことである。引き続き、回収活動を続けていく予定である。